

平成 28 年度行政評価 市民参加ワークショップ 提案のまとめ

みどり豊かな都市づくりの推進（魅力ある公園づくりなど）

※意見の最後の【○】は委員会のヒアリング等における仮指摘事項

●社会環境の変化に対応した適正な公園（設備含む）の配置【①】

- ・ 街区公園で遊んでいる子どもの姿を見かけなくなった。子どもがいないのに遊具（砂場等）があっても仕方がない。利用されていない施設・設備の撤去を考えてみても良いのではないかな。
- ・ 町内会（住宅街）の中にある小さな公園は、利用者が少なく汚れている。
- ・ 地域に小さい子どもがおらず使われていない公園は、利用形態の転換を図って、きれいな花を植えたり、ベンチを置いて年配者もくつろげる場にすることも検討すべき。
- ・ これからの公園ではコミュニケーションの場としての機能が重要。
- ・ 利用者が少なくても、災害時の避難場所としての機能は必要。

●管理運営への住民参加【②】

- ・ 行政の予算の中でやれることには限りがあるのではないかな。
- ・ 地元住民の管理（企画提案も）が必要。管理運営には行政との連携を前提として、町内会・老人クラブ・子ども会・ボランティア等が積極的に参画する方がよいと思われる。ただし、一部の団体によって独占的な状況にならないように留意しなければならない。
- ・ 公園の意義や活用をもっと PR すべき。行政による取組だけではなく、PR 等についても、地域が積極的に運営協力をした方がよい。
- ・ 公園づくり・管理を通じて近隣住民が顔見知りになれるコミュニティづくりができればよい。
- ・ ボランティアではなく有償で担ってもらう仕組みづくりがないと、担い手が集まりづらいのではないかな。
- ・ 管理に従事している方々に「公園の守人」などの称号を与えれば、モチベーションがあがるかも。滅多にもらえない勲章のようなものが意外と効果的。

●通年を通した公園の役割【③】

- ・ 公園の周囲や近くの交差点に雪が多く積まれるため、見通しが悪い。
- ・ 雪を入れやすい公園としてほしい。かつ、冬の遊び場としても使用できることが望ましい。
- ・ 公園にはフェンスはつけず、雪を入れやすくするなど、公園の施設・設備にも工夫が必要。
- ・ 「雪捨て」以外の利用方法を聞いたことがないが、街区公園の冬期利用をどう考えていくか課題。
- ・ 日時等を決め、公園を利用した遊びの場を作る。例えば、冬は雪山を作ってソリ滑り。夏は児童会館のように、一緒に遊ぶプログラムなどを作ってみて

は。

●公園のランドデザイン【④】

- ・ これからの公園に必要なコンセプト・イメージ
“「大人がふと立ち寄りたくなる公園」づくり ～子どものいない“昼”の有効活用～ “ ”を検討テーマとしたグループの意見抜粋。
- ✓ 運動できる公園（最近、あまり使われていないゲートボール場から、人気のパークゴルフ場への転換）
- ✓ くつろげる公園（バラ公園・ユリ公園など季節でテーマを持たせる。）
- ✓ 交流を生む公園（交流を生み出させるような仕掛けのある配置・デザイン。参加型の市民植樹）
- ✓ 機能がしっかりと分割された公園（幼児が遊べるエリアを設定し、周囲にベンチを置いて、子育て中の方の憩いの場に。一方、児童向け公園と機能分割して、大人向け公園には砂場は不要。）

●利用状況調査やニーズの把握【⑤】

- ・ 公園の魅力をつくったあとの情報周知が必要。整備後の、来てもらうきっかけづくりにしていかなければならない。
- ・ 小規模公園の施設や設備の利用実態をしっかりと把握して、利用実態から設備を検討していくべき。
- ・ ほとんど使われていない施設（ゲートボール場等）がある。また、遊具は三種の神器に拘らず、公園ごとの個性を出していった方がよい。
- ・ 様々な手法でニーズの吸い上げを実施していくとよい。（定期的な意見交換を、町内会と行政で実施。具体的な市民アンケートを実施。地域内に公園担当委員会を設置する。など）
- ・ 若い世代と年配者のニーズは違うので留意しなければならない。若い人は意見を言いづらかったりするので、意見を言いやすい環境づくりも必要。
- ・ 市長が意見を把握できる仕組づくりも必要なのではないか。

●市民からの要望・その把握手法【⑥】

- ・ 「座りたい」と思うようなベンチが少ない。東屋など屋根付施設が不足している。坂・階段が多くて、花を見にいけない。
- ・ 壊れた遊具が一年中壊れた状態のままの場合がある。市はいつ直すつもりなのか。
- ・ 子ども達が自由に遊べる場所が少ない。キャッチボールできる場所がない。
- ・ 公園のことを誰に相談すれば良いか分からない。解決窓口の一元化により、公園に関する要望等にすぐ答えられる窓口を設置するべき。
- ・ 公園の案内看板に担当窓口の電話番号を書いてはどうか（実施済）。
- ・

●各公園の設備や状況等の周知と利用者が受けとりやすい情報システムの構築

- ・ 各公園の設備や状況等の周知と検索システムの構築を、より一層すすめた方がよい。また、新しい遊具の情報も検索システム上にあると良い。
- ・ パソコン・ケータイで情報検索しやすいようにするべき（アプリ化・公園内にfreeWi-Fiを設置するなど）
- ・ 市民が情報をアップするシステムをつくる（SNS 等）など、IT・デジタルを

活用した新しい情報発信手法をもっと活用すべき。

- ・ 自動販売機を活用した情報システムづくりを進めてみてはどうか。自動販売機を活用したデジタルサイネージを用いることによって、公園情報を見やすく、誰でも受け取りやすくするなど。
- ・ 近隣施設の情報（近くの公園、トイレ等の施設の有無、公共施設、避難所）、防災の情報も掲載されていれば有効に活用されると思う。

●大通公園の利用方法（WS 検討テーマ「市民のための大通公園～大通公園はだれのもの？～」）

- ・ 大通公園は街の顔であり、市民が対象ではなく大きな枠組みで利用されているイメージ。
- ・ 今は「食」に偏りすぎなので、市民向けに飲食以外の文化的なイベントを実施するなど検討してみてもよいのではないか。
- ・ 近隣住民の理解を得る努力が必要（イベント時の騒音問題等）
- ・ イベントの他に、憩いの場としての公園も大切にしてほしい。
- ・ 例えば、7丁目・8丁目を住民の公園にするなど、地域の活性化のために活用してみてもどうか。
- ・ 地域に愛着を持って住んでいる人が少ない場合もあるので、地域住民の意識の掘り起こし活動も必要ではないか。

●その他

- ・ 迷惑駐車をとりしまってほしい。
- ・ 大人が火を使ってバーベキューをしており、たまり場になっているので、防犯上このましくない。
- ・ バーベキューのできる公園を増やして、友人や家族で楽しめることができれば良い。（との意見も有。）
- ・ 砂場に動物のふんが多い。
- ・ 公園内にトイレを設置するなら、マメに清掃してほしい。